2022　年度　（令和　4　年度）　学校評価自己評価表

中央　中学校区	校番　53	福山市立　西深津小　学校

最終更新日	２０２３年(令和５年)２月

Ⅰ　福山市

ミッション	福山に愛着と誇りを持ち，変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。
ビジョン	「福山１００ＮＥＮ教育」の基本理念のもと，各中学校区・学校が「２１世紀型“スキル＆倫理観”」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し，日々の授業を中心として評価・改善を進めながら，子どもたちの確かな学びを実現している。

Ⅱ　中学校区

前年度学校関係者評価の主な内容	児童生徒の現状
・コロナ禍の中，各学校感染拡大防止策を考え工夫されて学習，行事に取り組まれている。子どもたちが，学校が楽しいと感じられるように校区の学校が取り組んでほしい。 ・評価項目の８項目において，十分満足，概ね満足できるという肯定的評価をいただいており，引き続き努力してほしい。	○子ども主体の学びづくりの中で，主体性が育ちつつある。 ○小中共通の取組で，中学校生活に円滑に移行できている。 ●不登校傾向にある児童生徒数の割合が高い。 ●家庭での学習習慣をより主体的にする必要がある。

育成する力 (21世紀型“スキル＆倫理観”)	スキル・・・　Ａ【知識・技能】　Ｂ【思考力・判断力・表現力】 倫理観・・・　Ｃ【協調性】　Ｄ【思いやり】
めざす子ども像 (義務教育修了時の姿)	ふるさとを愛し，地域の中で，伸びやかにたくましく成長している
中学校区として統一した取組等	１　校区合同で実施する授業研究 ２　生徒会，児童会による「いじめＳＴＯＰ集会」や「あいさつ運動」の実施 ３　校区校長会，校区教頭会，校区各主任会等を通しての連携

Ⅲ　自　校

ミッション
高い志を持ち，たくましく生きる子どもの育成

学校教育目標
「学ぶ楽しさ，生きる喜び」を持つ子どもの育成

現　状
〈児童生徒〉 ○児童が企画・立案・実行して活動を仕組む力がついてきている。 ○異学年交流活動を通して，相手意識をもった行動が増えてきた。 ○自主学習の計画を立てることができる児童が増えてきた。 ●自分の思いを相手にわかりやすく伝わるように表現できない。 ●自己肯定感が低い傾向にある。 〈授業〉 ○児童が課題を選び，共同して学習していく学習活動ができてきている。 ●児童が「学びがおもしろい」と感じる思いや姿を子どもたちの中に共有できていない。 ●子どもが学ぼうとしていることに任せきれず，探求させなかったり「正解」を求めたりする授業になることがある。

育成する力 (21世紀型“スキル＆倫理観”)		スキル・・・　Ａ【知識・技能】　Ｂ【思考力・判断力・表現力】 倫理観・・・　Ｃ【協調性】　Ｄ【思いやり】
めざす子ども像	低	Ａ　基礎的・基本的な知識・技能を身に付けることができる。 Ｂ　お互いの考えを聴き合い，思いを伝え合うことができる。 Ｄ　相手の立場に立って，友だちの気持ちを考えることができる。
	中	Ａ　基礎的・基本的な知識・技能を身に付け，既習の知識と比較することができる。 Ｂ　他者の考えを聴き，さまざまな気づきを持ち，自分の考えと比べながら表現できる。 Ｄ　友だちの気持ちや周囲の思いを考えた行動ができる。
	高	Ａ　基礎的・基本的な知識・技能を身に付け，関連付けて考えることができる。 Ｂ　他者の考えの意図を感じながら聴き，自分の考えを深め，その変化を表現することができる。 Ｄ　相手や場に応じて適切な言動ができると同時に，今，何をすべきかを周囲に提案できる。
研究	テーマ	豊かな対話による一人一人の学びの創造 ～聴き合い学び合いを通して，共に「さぐり」「学び」「決める」～
	内容等	①児童が選択し，自己決定し，共同で学び表現し合う ②児童が課題を設定し，課題解決方法を考え，主体的に展開する
めざす授業の姿		子どもたちが思いや考えを表現し，意見を取り入れたり，協働して考えたりしながら教え合い表現し，友だちや自分の良さを感じる授業